

会 議 結 果 の お 知 ら せ

第2回宮古市地産地消推進計画策定委員会を次のとおり開催しました。

令和7年3月13日

宮古市地産地消推進計画策定委員会

- 1 開催日時
令和7年2月25日（火） 午後2時～午後2時40分
- 2 開催場所
イーストピアみやこ 1階 会議室2
- 3 議題
(1) 宮古市地産地消推進計画(案)について
(2) その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
産業振興部農林課農政係 電話0193-68-9094

第2回宮古市地産地消推進計画策定委員会

1 出席者（9名）

伊藤昌貴、小林猛男、内山貴啓、遠藤 敬、山内ゆかり、吉濱孝明、尾形昌治、
鳥居 旬、中居泰雅

2 欠席者（5名）

川戸善徳、佐々木理江、島崎 準、藤田ルリ子、涌田幸栄

3 事務局出席者（5名）

産業振興部長 岩間 健、農林水産振興次長 飛澤寛一、
産業振興部農林課長 袈岩邦行、産業振興部農林課農政係長 菊地政幸
同係 山根展人主任

4 傍聴者

なし

5 議事等

(1) 宮古市地産地消推進計画(案)について

宮古市地産地消推進計画（案）について、事務局から説明した。

(2) その他

今後の計画案の取り扱い等について、事務局から説明した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「宮古市地産地消推進計画の策定方針について」】 (委員) 前回の委員会で、給食の食材の割合のところで、もやしとか冷凍食品を入れるのはどうかという話はしたと思うが、それはそのままということでよいか。 (委員) もやしや冷凍ほうれんそうなどは、見込みが全く無いので、今後その部分の見直しの検討はしないのか。 たとえば、もやしを外せば絶対に数字は上がると思うので、その確認です。 (委員) 18 ページの表示さ 3 番の基本施策 1 の③産地直売所の魅力向上の取り組み支援とあ	(事務局) 目標数値については、もやしとかは抜かずに、野菜としてひとくくりとし 70%の目標ということにさせていただきたいと思います。 これまでの 24 品目から大分類として、肉類などを抜いたところですが、あくまでも大分類の野菜類として、全体として 70%に近づけるというような考え方になります。 (事務局) 確かにもやしは絶対に宮古産は手に入らないです。もやしを抜けば数字としては高くなっていきますが、果たして、野菜類から抜くことが正しいことかというのは、まだ答えが出せていないところです。 給食センターで扱っている食材のなかで、やはり、地元産では出せないものがあるというのも、ここでは必要な数字なのではないかという思いもあって、今回は抜きませんでした。 今後、5 年間の中で検討させていただきたいと思います。 (事務局) 前回の委員会でも、意見としてお話がありましたので、目標としてはその通りですが、もやしなど生産ができてないものも含まれているという内容を、計画に入れていけばいいかなと思っています。 (事務局) 魅力の発信といいますか、支援という話になりますと、それぞれ相乗効果があって、野

りますが、支援という意味はどういうものなのか。

例えば、なあと産直が、一番、宮古では大きいと思うが、そこが地産地消の要となる魅力があるかというところに、私的にはちょっと疑問を感じさざるを得ない。

遠野の道の駅と比べるのは、きついと思うが、ちょっと野菜だけ見てみて、もう少しとを感じる。

あと、魚市場の向かいにあるのに、魚はないうというのも、どうかと正直思うが、この魅力向上の取り組み支援というのは、アドバイスや意見がありますというところで終わってしまうのか、それとも、市としてもっと魅力ある地産地消の要としての施設として、応援していくのかというところの考え方を聞かせてほしい。

菜、果物、魚類、あるいは道の駅の物販もやっている中での産直の位置づけになります。

そこは魅力があるところだと私もは思っておりまして、あそこの組合員さんは、なあと産直以外にも、例えば、DORA産直など、複数を兼ねている方もいますので、その部分での品数などの魅力が出てきていると思っていました。

我々も、これからの取り組み支援というのは、それらの部分での生産支援や販売支援も入ってくると思います。ちょっと前段でありましたが、売り方の知恵を出したり、イベント等も含めて一緒になってやっていきたいというのが取り組み支援になっています。

(事務局)

実は、これまでもどうやったら産直の売り上げが上がるだろうか、農林振興センターさんからもご協力いただき、講師の先生を派遣していただくなど、長い間やってきています。実は、小さいところは割としっかりやっているとと思っています。小さい産直では、本当頑張っていると思いますが、どうしても、なあと産直は規模が大きくて、なかなか小回りが利かないといえますか、どうしても改善に時間がかかっていると正直思います。例えば、午後になると、物が無くなるとよく言われますが、私達も意見しながらやってきていますが、それぞれ経営なものですから、なかなか、踏み込んだ意見を出しにくいところもあります。ただし、同じ産直ですので、それぞれ意見を出し合いながら、良い方向に進めていきたいと思っています。